

## 第3・4学年 総合的な学習の時間学習指導案

平成29年10月20日（金）第2校時  
東祖谷小学校 第3・4学年11名  
指導者 T1：細川 貴史  
T2：喜多 勝美

### 1 単元名 知ろう 感じよう 伝えよう！東祖谷の自然

### 2 単元設定について

#### (1) 児童・地域の実態

3・4年生の児童は、明るく素直で、好奇心旺盛であり、どんな課題に対しても非常に意欲的に取り組むことができる。

動植物にも興味があり、理科の『たねをまこう』の単元でマリーゴールドを栽培した際には、毎日本水をやりながら、発芽・成長する様子を興味深く観察できていた。『チョウを育てよう』の単元では、毎日のように自分が育てているチョウの幼虫に話しかけながら、えさやりや掃除を行っていた。また、休日は家に持って帰るなど、とても大切に育てている様子がうかがえた。サナギが今にも成虫に変化しそうなときには、休み時間になるたびにサナギに釘付けになり成虫になるのを待ち構えているようであった。成虫になりたての状態を目にすることができ、大きな感動を味わうことができた。

また、社会科の『わたしたちの町』の単元で「町探検」を行った際には、訪問先の施設で多くの地域の方々と出会い、交流を深めることができた。対応してくださった方々は、児童にとっても優しく接してくれるとともに、それぞれの施設での仕事への思いや願いについて丁寧に説明してくださった。児童は、地域の方々の優しさにふれ、改めて東祖谷のよさや人の温かさを感じることができた。

本校の校区は、剣山・三嶺という徳島県を代表する山々に囲まれ、学校のすぐ前には、祖谷川の清流が流れている。児童は、このような豊かな自然に囲まれて生活し、谷水を生活に利用したり、アメゴやイノシシの肉、山菜等を食べたりすることもあり、自然の恵みが日常の生活に溶け込んでいる様子もうかがえる。しかし、野山を駆けまわったり、川遊びに夢中になったりすることはなく、休日は県内外の大型ショッピングモールに出かけたり、テレビゲームに興じたりするなど町中の子どもたちと変わらない生活を送っている児童も多い。雄大な自然の中に身を置きながらも、自然体験が意外に少ないという現状がある。

そのような環境で育った児童は、東祖谷のよいところを聞くと、それぞれが自分なりの意見を発言することができる。しかし、それは、これまでの生活経験からの発言にとどまり、明確な根拠があるものや、客観的な視野でとらえた発言ではない。大変素直であり、未知の内容の学習に対してとても意欲はあるものの、教師から言われたことをやや受け身的に取り組むことが多い。また、物事に対して疑問を持ったり根拠を明らかにして話したり、思考しながら活動したりすることが苦手な児童もいる。そこで、本単元の学習では体験活動を効果的に組み込み、友達と協力しながら体験し、具体的な資料や事実を比較・検討しながらまとめる活動を通して、効果的な表現方法を考えたり、思考しながら活動したりする力を育てたいと考えた。

#### (2) 単元について

昨年度は、総合的な学習の時間に東祖谷に自生する「イヤギボウシ」を教材として取り扱った。前年度に採取した種子を植え、大切に育てたり、成長の様子を観察したりするなど、東祖谷ならではの希少種の保護活動に取り組んだ。植物に焦点を当てた昨年度の取り組みを通して、東祖谷の豊かな自然を大切にしようとする心情を育てることができた。

そこで、今年度も東祖谷の自然に目を向け、学ぶ対象を植物から動物に変更して学習を進めたいと考えた。まず、ウェビングマップで東祖谷に関する既存の知識やイメージを児童が表現できる場を設けた。児童間での話し合いの結果、アメゴとシカに焦点を絞り学習を進めていくことに決まった。次に、小学校の児童や家庭・地域の方々へアンケートを取り、アメゴやシカに関して自分たちが抱いているイメージと、家庭や地域の方が抱いているイメージとの相違点について検証した。アンケート結果から、児童はアメゴやシカを好意的に感じているが、大人たちは、特にシカに対して害獣だと考えているところがあり、それぞれが抱いているイメージには違いがあることが分かった。データの収集、分析、まとめの作業を行うことで、東祖谷の動物に対して数値を基にしながらか客観的に考えることができた。

また、東祖谷ならではの体験活動も充実させたいと考えた。これまでに児童は、アメゴに関する体験学習として、稚魚の放流を行い、同時にアメゴの飼育も始め現在も大切に育てている。シカに関する体験学習としては、ジビエ料理の試食、ジビエの施設見学を行った。さらに、「三嶺の自然を守る会」の皆様にお話をうかがった際には、木々に防護ネットを施し、シカの食害を防ごうと活動している様子に加えて、今の自然環境を守っていきたいという思いや願いにも触れることができた。どの体験も、児童にとって新鮮なものであり、印象に残る経験となった。

体験活動から学習のまとめまでの一連の流れを、友達とかかわり合いながら協働的に学ぶ機会に位置付ける。人と出会い、実感を伴った体験をし、体験したことを効果的にまとめる活動を行わせるとともに、これらの活動の中から、地域の方々の思いや願いにも迫りたいと考えた。そして、ふるさとを大切にする思いを育て、将来、東祖谷の発展に貢献できる人材を育成したいという願いから、本単元を設定した。

### (3) 研究副主題のキーワード『豊かなかかわり合い』との関連

本単元では、児童になじみがあり興味・関心の大きいアメゴとシカを教材として選択し、学習を進めている。学習を進めるに当たって、児童に多様な体験活動をさせたいと考えているため、地域の方々の協力が不可欠である。体験活動を行う際には、単なる体験で終わることのないよう、事前には活動を支援してくれる地域の方々への質問内容を考え、事後には体験から学んだことをまとめる学習に重点を置いて取り組みを進める。また児童には、地域の方々のアメゴやシカについての活動を通して、今の自然環境を守ろうとしていることや、それらを資源にして地域を活性化していこうとする願いにも触れられるようにしたい。

児童は、同じテーマに沿って学習しているグループの友達と協力して活動を行っている。児童同士のかかわり合いを大切にして学習することを基本とし、話し合いを重ねることでよりよいアイデアやまとめ方、表現方法を見つけられるように支援していきたい。

## 3 単元の目標

児童になじみの深い、アメゴとシカを中心に据えた東祖谷の自然に親しむ活動を通して、ふるさとを愛する心情を育てる。

## 4 単元の評価規準

### ア 【課題を見いだす力】

これまでの学習や生活経験をもとにして、東祖谷の特徴ある自然や動植物について意欲的に調べようとする。

### イ 【思考・判断・表現する力】

東祖谷の特色について必要な情報を収集したり整理したりしながら、地域の方々の思いや願いを感じ取り多様な表現方法で伝えようとする。

### ウ 【共に学ぶ力】

様々な体験学習を通して、友達と体験を共有したり、学習したことを協力してまとめたりしようとする。

5 単元構想

(ア 課題を見いだす力 イ 思考・判断・表現する力 ウ 共に学ぶ力)

学習活動		児童の意識の流れ	活動の主な支援	評価規準 (評価方法)			
第1次	東祖谷の自然について考える。 [4時間]	<p style="text-align: center;"><b>東祖谷の宝物を探そう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シカの鳴き声が聞こえるよ。</li> <li>・おじいちゃんが釣ってきたアメゴがおいしかったよ。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェビングマップを使い、学習の方向を決めよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べる意欲をもたせるために、東祖谷について知っていることを自由に出し合う場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア興味をもって調べようとしている。 (発言・行動)</li> </ul>			
第2次	アメゴとシカに関する体験活動を行う。 [8時間]	<p style="text-align: center;"><b>体験をしよう。</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【アメゴ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流体験</li> <li>・飼育</li> </ul> <p style="text-align: center;">アメゴを守る努力をしている人がいるんだな。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【シカ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジビエ料理試食</li> <li>・ジビエ施設見学</li> </ul> <p style="text-align: center;">自然環境を守ろうとしている人がいるんだな。</p> </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;"><b>【アメゴ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流体験</li> <li>・飼育</li> </ul> <p style="text-align: center;">アメゴを守る努力をしている人がいるんだな。</p>	<p style="text-align: center;"><b>【シカ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジビエ料理試食</li> <li>・ジビエ施設見学</li> </ul> <p style="text-align: center;">自然環境を守ろうとしている人がいるんだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験を大切にすることに加えて、環境を守っている人々や地域を活性化しようとしている人々の願いにもふれるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イめあてをもって体験に参加している。 (インタビュー)(会話)</li> </ul>	
<p style="text-align: center;"><b>【アメゴ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流体験</li> <li>・飼育</li> </ul> <p style="text-align: center;">アメゴを守る努力をしている人がいるんだな。</p>	<p style="text-align: center;"><b>【シカ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジビエ料理試食</li> <li>・ジビエ施設見学</li> </ul> <p style="text-align: center;">自然環境を守ろうとしている人がいるんだな。</p>						
第3次	学習の成果を発信する。 [18時間] (本時12/18)	<p style="text-align: center;"><b>学習の成果を発表しよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞にまとめよう。</li> <li>・新聞発表会をしよう。</li> <li>・内容を深めてキッズフェスティバルで地域の方々に発表しよう。</li> <li>・どんな方法で発表しようかな。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">新聞</td> <td style="width: 33%;">劇</td> <td style="width: 33%;">紙芝居</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間発表会をしよう。</li> <li>・地域の方々の思いや願いを伝えたいな。</li> </ul>	新聞	劇	紙芝居	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験したことを中心にまとめさせる。</li> <li>○活動の様子写真を提示し、手がかりにするように働きかける。</li> <li>○多様な発表方法を考えさせるために、発表の場をイメージする機会を設ける。</li> <li>○全員が活躍できるように一人一人に役割をもたせる。</li> <li>○地域の方々の思いや願いに気付かせるために体験活動を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウ情報を取捨選択して簡潔にまとめることができる。 (まとめ)</li> <li>ウ友達の発表を聞き、表現の工夫を見つけている。 (発言)</li> <li>ウ友達と協力して発表内容を考えている。 (行動・会話)</li> <li>イ伝える相手を意識して発表している。 (発言)</li> <li>イ地域の方々の思いや願いを発表に生かそうとしている。 (発言)</li> </ul>
新聞	劇	紙芝居					
第4次	自分たちにできることを考える。 [6時間]	<p style="text-align: center;"><b>自分たちにできることを考え、実践しよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を大切にすることを呼びかけよう。</li> <li>・HP やポスターで東祖谷のいいところを発信しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習した内容を多くの人に啓発するための多様な方法を考えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ学習したことを生かして自分ができることを考え実践できる。 (発言・行動)</li> </ul>			

## 6 本時の学習

### (1) 目標

中間発表を振り返り，改善点を話し合う活動を通して，地域の方々の東祖谷に対する思いや願いに気付くことができる。

### (2) 展開

時間(分)	学習活動	児童の意識の流れ	指導・支援	評価規準(評価方法)	
10	1 自分の班や他の班の発表をビデオで視聴する。 (全体学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を確認しよう。</li> <li>・自分たちの目標を意識して発表できているか注目しよう。</li> <li>・他の班は，どんな工夫があるか考えながら視聴しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○班の目標を掲示しておく。</li> <li>○他の班の工夫に注目させる。</li> </ul>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     どうすれば，もっといい発表になるだろう。                 </div>					
10	2 自分たちの発表の反省と，他の班の工夫を話し合う。 (グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標は達成できたかな。</li> <li>・他の班は，ジェスチャーが大きくて分かりやすかったよ。</li> <li>・地域の方々に教えてもらった内容がとても分かりやすく表現できていたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの目標を振り返らせる。</li> <li>○発表方法や内容に特にいいものがあれば，取りあげてほめるようにする。</li> </ul>		
20	3 自分たちの班の発表について，改善点を考える。 (グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や東祖谷を大切にしている気持ちを，分かりやすく表現できるともっとよくなると思うよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な体験をしたときの画像や動画を見せながら記憶を想起させる。</li> </ul>		
5	4 今日の学習を振り返る。 (全体学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々の思いや願いを発表に取り入れたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の方々の思いや願いを具体的に取りあげるようにする。</li> </ul>	イ環境保全や地域の活性化などの，地域の方々の思いや願いに気付くことができる。 (発言)	

「十分満足できる」と判断される状況	自分たちが体験したことや学んだことから，地域の方々の思いや願いに気付き，それらを視点にした感想や改善点を発言することができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手だて	体験活動の画像を提示しながら記憶を想起させるとともに，体験時の地域の方々からの印象的な言葉を提示し，思いや願いについて意識するように伝える。